

住宅用火災警報器の奏功事例

上越地域消防管内で、住宅用火災警報器の設置により、初期消火の成功や火災の早期発見等で、大事に至らなかった事例を紹介します。

また、住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の劣化や電池の寿命などで煙や熱を感知しなくなるおそれがあります。住宅用火災警報器は10年を目安に交換しましょう。

★住宅用火災警報器の奏功事例件数

※（）内は被害がなかった件数

平成18年2件（1）	平成25年6件（3）
平成19年0件	平成26年4件（4）
平成20年4件（3）	平成27年5件（4）
平成21年0件	平成28年4件（1）
平成22年4件（2）	平成29年2件（2）
平成23年7件（3）	平成30年4件（4）
平成24年8件（4）	平成31年2件（2）



※平成31年1月現在 奏功事例 総件数52件（33）

◎奏功事例

就寝中に寝室の住宅用火災警報器が鳴動。部屋の明かりをつけると、部屋中に煙が充満していたが、室内の家電製品から発煙したのみで、早期に発見により他に被害はなかったもの。

昼時、アパート1階の台所でフライパンをコンロにかけて食材を温めていたところ、このことを忘れて外出してしまう。その後、フライパンから発生した煙で台所の住宅用火災警報器が鳴動。この音に上階の住人が気づき、アパートの管理者経由で家人に知らされ、家に戻った家人がコンロの火を消して事なきを得たもの。

あなたの家の火災予防対策は出来ていますか？